

プログラム

5月16日（水）

A会場	3F	コスモスホール I	14
B会場	5F	オリオン	16
C会場	5F	スバル	18
E会場	3F	コスモスホール II	20
F会場	6F	606	25

5月17日（木）

A会場	3F	コスモスホール I	27
B会場	5F	オリオン	30
C会場	5F	スバル	33
E会場	3F	コスモスホール II	36
F会場	6F	606	41

5月18日（金）

A会場	3F	コスモスホール I	44
B会場	5F	オリオン	46
C会場	5F	スバル	48

5月16日(水) 11:00-11:30

A会場 3F コスモスホールI

Year in Review 1

リンパ腫のWHO新分類

【モデレーター】照井 康仁 ((公財) がん研究会 がん化学療法センター 臨床部・血液腫瘍科)

- YIR1 リンパ腫のWHO新分類 (Revised 4th WHO classification of lymphoid neoplasm)54
 中村 直哉
 東海大学医学部基盤診療学系病理診断学

5月16日(水) 11:30-12:00

A会場 3F コスモスホールI

Year in Review 2

がん免疫細胞療法 -CAR-T療法の課題とは-

【モデレーター】木村 晋也 (佐賀大学医学部医学科内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科)

- YIR2 がん免疫細胞療法 -CAR-T療法の課題とは-54
 大嶺 謙^{1,2}
¹自治医科大学内科学講座血液学部門
²自治医科大学免疫遺伝子細胞治療学(タカラバイオ)講座

5月16日(水) 13:20-14:10

A会場 3F コスモスホールI

基調講演 1

サリドマイド催奇性のターゲットの発見から新規抗がん剤開発へ

【モデレーター】間野 博行 (国立がん研究センター研究所)

- K1 サリドマイド催奇性のターゲットの発見から新規抗がん剤開発へ52
 半田 宏
 東京医科大学ナノ粒子先端医学応用講座

5月16日(水) 14:20-16:20

A会場 3F コスモスホールI

シンポジウム 1

ケミカルバイオロジーが切り拓くがん研究・診療の未踏領域

【モデレーター】清宮 啓之 ((公財) がん研究会 がん化学療法センター 分子生物治療研究部)
 吉田 稔 (国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター
 ケミカルゲノミクス研究グループ)

- S1-1 選択的タンパク質分解薬のケミカルバイオロジーとスプライシングモジュレーターの創薬を繋ぐ...57
 大和 隆志
 エーザイ株式会社 オンコロジービジネスグループ
- S1-2 蛍光ライブイメージングを活用した新たながん診断と治療57
 浦野 泰照^{1,2,3}
¹東京大学大学院薬学系研究科
²東京大学 大学院医学系研究科
³日本医療研究開発機構 AMED-CREST

S1-3	PI ポリアミドによる遺伝子選択的制御薬の開発.....	58
	杉山 弘 京都大学	
S1-4	組織透明化技術のがん研究への応用.....	58
	高橋 恵生、宮園 浩平 東京大学大学院 医学系研究科 分子病理学	

5月16日(水) 12:15-13:05

B会場 5F オリオン

ランチョンセミナー1

多発性骨髄腫治療のup to date

【モデレーター】石田 禎夫(日本赤十字社医療センター 血液内科)

LS1 多発性骨髄腫治療のup to date

照井 康仁

(公財)がん研究会 有明病院 血液腫瘍科

【共催】武田薬品工業株式会社

5月16日(水) 14:20-15:20

B会場 5F オリオン

ワークショップ1

免疫療法・抗体療法I

【モデレーター】伊藤 薫樹(岩手医科大学病院 臨床腫瘍科)

原 隆人(武田薬品工業株式会社 湘南リサーチセントラルオフィス)

- W1-1 非小細胞肺癌における腫瘍免疫関連分子 B7-H3 による抗 PD-1 治療への抵抗性とその克服について68
 米阪 仁雄¹、西尾 和人²、中川 和彦¹
¹近畿大学医学部腫瘍内科学
²近畿大学医学部ゲノム生物学
- W1-2 線維細胞が腫瘍免疫に及ぼす影響についての検討68
 荻野 広和、後東 久嗣、大塚 憲司、西條 敦郎、埴淵 昌毅、西岡 安彦
 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野
- W1-3 腫瘍微小環境における Fcγ RIIB の役割69
 笠原 佑記¹、城田 英和²、石岡 千加史²
¹東北大学 加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野
²東北大学 腫瘍内科
- W1-4 Vasohibin-2 を分子標的とした次世代型抗体療法の開発69
 李 殷瑞、鈴木 康弘、佐藤 靖史
 東北大学加齢医学研究所 腫瘍循環研究分野
- W1-5 選択的かつ強活性を有する新規 Indoleamine 2,3-dioxygenase 1 (IDO1) 阻害剤 KHK2455 の In Vitro および In Vivo 機能解析70
 三重 元弥、国枝 佳奈、小柴 梢子、堀田 晋也、福田 裕一、石井 俊彦、森 聖寿
 協和発酵キリン株式会社 研究開発本部

ワークショップ3

キナーゼ阻害剤

- 【モデレーター】岡本 勇（九州大学病院 呼吸器科）
三嶋 裕子（(公財)がん研究会有明病院 血液腫瘍科）
- W3-1 トポイソメラーゼ阻害剤 lamellarin の化学修飾による耐性 EGFR T790M/C797S 阻害剤の創製.....73
西谷 直之¹、西谷 直之¹、奥 裕介¹、福田 勉²、旦 慎吾³、石橋 郁人⁴、矢守 隆夫³、上原 至雅¹、岩尾 正倫²
¹岩手医科大学 薬学部
²長崎大学大学院工学研究科
³(公財)がん研究会がん化学療法センター
⁴長崎大学大学院水産・環境科学研究科
- W3-2 次世代 ALK 阻害薬 Lorlatinib 耐性重複変異の発見とその治療戦略の示唆.....73
岡田 康太郎^{1,2}、藤田 直也^{1,2}、片山 量平¹
¹(公財)がん研・化療セ・基礎
²東大院・新領域
- W3-3 RAS-RAF シグナル異常肺がんにおける MEK 阻害薬と HDAC 阻害薬の併用治療効果.....74
山田 忠明¹、谷本 梓²、矢野 聖二²
¹京都府立医科大学大学院 呼吸器内科学
²金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科研究分野
- W3-4 YFP-EGFR-ICD 法を用いた、uncommon compound mutation を有する EGFR 遺伝子変異陽性肺癌における EGFR-TKI 感受性予測.....74
リウ レンペン、田中 謙太郎、木村 信一、柴原 大典、大坪 孝平、米嶋 康臣、岩間 映二、原田 大志、中西 洋一、岡本 勇
九州大学 大学院医学研究院 胸部疾患研究施設
- W3-5 非接着培養を用いた新規 ROS1 阻害剤評価系の構築.....75
キョウ 博^{1,2}、大原 智子¹、小池 清恵¹、藤田 直也^{1,2}、片山 量平¹
¹(公財)がん研・化療セ・基礎
²東大院・新領域

5月16日(水) 12:15-13:05

C会場 5F スバル

ランチョンセミナー2

がん薬物療法における口腔粘膜炎 その対処

【モデレーター】 畠 清彦 (国際医療福祉大学医学部 血液内科/国際医療福祉大学三田病院 悪性リンパ腫・血液腫瘍センター/ (公財)がん研究会 がん化学療法センター)

LS2 がん薬物療法における口腔粘膜炎 その対処

上野 尚雄

国立がん研究センター中央病院 歯科

【共催】 Meiji Seika ファルマ株式会社

5月16日(水) 14:20-15:20

C会場 5F スバル

ワークショップ2

ゲノム・エピゲノム/miRNA

【モデレーター】 末岡 榮三朗 (佐賀大学医学部 臨床検査医学)
赤尾 幸博 (岐阜大学大学院 連合創薬医療情報研究科)

- W2-1 軟骨肉腫に対する IDH 変異を標的とした分子標的治療の開発70
中川 亮^{1,2}、中谷 文彦³、北林 一生¹
¹国立がん研究センター研究所 造血器腫瘍研究分野
²九大大学院整形
³国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科
- W2-2 Precision Medicine を志向した次世代型のエピジェネティクス解析法の開発と今後の展開71
金子 修三¹、浜本 隆二^{1,2}
¹国立がん研究センター 研究所 がん分子修飾制御学分野
²理研 革新知能統合研究センター がん探索医療研究チーム
- W2-3 新規経口 DNA 脱メチル化剤 OR-21 の効果の検討71
嬉野 博志、倉橋 祐樹、渡邊 達郎、木村 晋也
佐賀大学 医学部 創薬科学講座
- W2-4 microRNA による横紋筋肉腫の病態解明と標的分子72
杉戸 信彦、赤尾 幸博
岐阜大学大学院 連合創薬医療情報研究科
- W2-5 膀胱癌に対する合成 miR-143 膀胱内投与による抗腫瘍効果72
辻野 拓也^{1,2}、杉戸 信彦¹、倉永 祐希¹、篠原 悠¹、赤尾 幸博¹
¹岐阜大学 連合創薬医療情報研究
²大阪医科大学 泌尿生殖・発達医学講座

ワークショップ4

細胞死/オートファジー

- 【モデレーター】南 陽介(国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科)
松本 陽子(崇城大学大学院 応用生命科学専攻)
- W4-1 造血器腫瘍治療戦略としての BMI-1 阻害.....75
小島 研介、木村 晋也
佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科
- W4-2 新規 NF-kappaB/STAT3 阻害剤 bavachin による多発性骨髄腫でのアポトーシス誘導機構の解析.....76
浅野 良太、椿 正寛、武田 朋也、加藤 菜月、田畑 光希、西田 升三
近畿大・薬・薬物治療学
- W4-3 FGFR 阻害剤 BGJ398 と HDAC 阻害剤 OBP-801 との併用による、膀胱癌に対する分子標的治療戦略.....76
堀中 真野、曾和 義広、酒井 敏行
京都府立医科大学・院・医・分子標的癌予防医学
- W4-4 レバミピドによる Akt/mTOR 経路活性化を介した抗がん剤誘導口腔粘膜細胞死抑制効果77
川島 啓司、椿 正寛、武田 朋也、浅野 良太、地主 みなみ、西田 升三
近畿大・薬・薬物治療学
- W4-5 光プローブをもちいたプログラム細胞死(アポトーシス、ネクロプトーシス)の動的解析.....77
尾崎 倫孝^{1,2}、芳賀 早苗¹
¹北海道大学・院・保 生体応答制御医学分野
²北海道大学・院・保 生体分子・機能イメージング

5月16日(水) 16:30-17:18

E会場 3F コスモスホールII

ポスターセッション1

ゲノム・エピゲノム・エピジェネティクス

【モデレーター】薬師神 芳洋(愛媛大学医学部 臨床腫瘍学講座)

- P1-1 エピゲノム創薬標的タンパク質の均質アッセイ性能の検証**107
米沢 理人
アクティブ・モティブ
- P1-2 卵巣高異型度漿液性腺癌では化学療法後にクローン数が減少する**107
高矢 寿光¹、坂井 和子²、西尾 和人²、松村 謙臣¹
¹近畿大学医学部 産婦人科
²近畿大学医学部 ゲノム生物学教室
- P1-3 乳がん悪性化におけるヒストン脱メチル化酵素 KDM6A の役割**108
古室 暁義、上田 健、天野 恭志、岡田 斉
近畿大学 医学部 生化学
- P1-4 ゲノム情報と知識データベースの融合による治療薬の選択**108
弘津 陽介¹、望月 仁^{1,2}、後藤 太一郎³、小俣 政男^{2,4}
¹山梨県立中央病院 ゲノム解析センター
²山梨県立中央病院 消化器内科
³山梨県立中央病院 肺癌・呼吸器病センター
⁴東京大学
- P1-5 ヒストンメチル化酵素 WHSC1 は卵巣明細胞癌において新規治療標的となり得る**109
児嶋 真千子¹、曾根 献文¹、久木田 麻子¹、町野 英徳¹、大木 慎也¹、金子 修三²、浜本 隆二²
¹東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座
²国立がん研究センター研究所がん分子修飾制御学分野
- P1-6 ヒストンメチル化酵素 SMYD2 は卵巣高悪性度漿液性癌に対する治療標的となりうる**109
久木田 麻子¹、曾根 献文¹、町野 英徳¹、児嶋 真千子¹、大木 慎也¹、金子 修三²、浜本 隆二²
¹東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座
²国立がん研究センター研究所 がん分子修飾制御学分野
- P1-7 肝細胞がんにおけるヒストン脱メチル化酵素 LSD1 の機能解析**110
金 翔哲^{1,2}、金子 修三¹、浜本 隆二^{1,3}
¹国立がん研究センター研究所 がん分子修飾制御学分野
²杏林大学医学部付属病院 消化器一般外科
³理化学研究所革新知能統合研究センターがん探索医療研究チーム
- P1-8 急性骨髄性白血病細胞株 Kasumi-1 における Am80 (タミバロテン) とヒストン脱アセチル化酵素阻害薬との併用効果**110
湯浅 磨里、影近 弘之
東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 薬化学分野

ポスターセッション2

miRNA・リキッドバイオプシー・バイオマーカー

- 【モデレーター】伊藤 研一（信州大学医学部外科学教室 乳腺内分泌・呼吸器外科部門）
- P2-1 B-グルカンによる K-Ras を標的とした核酸デリバリーシステムの開発111
佐々木 彰吾¹、和泉 弘人²、櫻井 和朗¹、望月 慎一¹
¹北九州市立大学 国際環境研究科 環境システム専攻
²産業医科大学 生態科学研究所 呼吸病態学
- P2-2 脳腫瘍における長鎖非翻訳 RNA TUG1 を標的とした新規治療法の開発111
新城 恵子、近藤 豊
名古屋大学 大学院医学系研究科 腫瘍生物学
- P2-3 悪性胸膜中皮腫モデルマウスにおける老化関連マイクロ RNA の腫瘍抑制効果112
山本 佑樹、木根原 匡希、矢野 公義、田原 栄俊
広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 細胞分子生物学研究室
- P2-4 “Universal” CTC-chip と抗 EGFR 抗体(Cetuximab)を用いた EpCAM 陰性中皮腫細胞の捕捉112
米田 和恵、田中 文啓
産業医科大学 医学部 第2外科学
- P2-5 Circulating free DNA と Exosomal DNA の関係についての検討113
中島 千穂¹、安部 友範¹、佐藤 明美²、末岡 榮三郎²、木村 晋也¹、荒金 尚子¹
¹佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科
²佐賀大学医学部 臨床検査医学講座
- P2-6 NDRG1 を標的としたグリオブラストーマの GSK3β/AKT/S6 活性制御による新規治療研究113
伊藤 寛¹、渡 公佑²、村上 雄一^{2,3}、柴田 智博²、阿部 竜也¹、小野 眞弓²
¹佐賀大学 医学部 脳神経外科
²九州大学 薬学研究院 創薬腫瘍科学講座
³聖マリア健康科学研究所
- P2-7 濾胞性リンパ腫における MYC 転座と予後に及ぼす影響について114
三嶋 裕子^{1,2}、照井 康仁^{1,2}、西村 倫子^{1,2}、三嶋 雄二²、畠 清彦^{1,2,3}
¹(公財)がん研究会 有明病院 血液腫瘍科
²(公財)がん研究会 化学療法センター 臨床部
³国際医療福祉大学三田病院 血液内科

ポスターセッション3

免疫療法・抗体療法

- 【モデレーター】西村 倫子（(公財)がん研究会 有明病院 血液腫瘍科）
- P3-1 担癌患者における免疫チェックポイント阻害剤投薬後の胸水検体を用いたフローサイトメトリー解析の検討114
池松 祐樹、劉 仁鵬、岡本 勇、中西 洋一
九州大学大学院医学研究院 胸部疾患研究施設

P3-2	標的結合ペプチドの構造ゆらぎ抑制による高親和性 HER2 結合小型タンパク質の創製.....115 太田 優美、門之園 哲哉、口丸 高弘、近藤 科江 東京工業大学 生命理工学院
P3-3	T 細胞活性化抗体医薬の代替となる低分子量 PD-1 結合タンパク質の創製.....115 相田 一希、門之園 哲哉、口丸 高弘、近藤 科江 東京工業大学 生命理工学院
P3-4	肺癌・悪性胸膜中皮腫マウスモデルにおける免疫チェックポイント阻害薬と化学療法の併用効果.....116 大塚 憲司 ¹ 、後東 久嗣 ¹ 、荻野 広和 ¹ 、西條 敦郎 ¹ 、埴淵 昌毅 ² 、西岡 安彦 ¹ ¹ 徳島大学病院 呼吸器膠原病内科学 ² 公立学校共済組合 四国中央病院
P3-5	ヒト NK 細胞の増殖及び表現型に対する IL-18 の効果:癌免疫療法への応用.....116 千住 博明、中富 克己、迎 寛 長崎大学病院呼吸器内科
P3-6	非小細胞肺癌の抗 PD-1 抗体治療における新規効果予測因子:末梢血好中球/リンパ球比の有用性の検討.....117 谷村 恵子、山田 忠明 京都府立医科大学 呼吸器内科

5月16日(水) 16:30-17:18

E会場 3F コスモスホールII

ポスターセッション4

キナーゼ阻害剤

【モデレーター】安澤 幸利 (株式会社ヤクルト本社 医療開発部)

P4-1	スキルス胃癌に対する FGFR 阻害薬の有効性の検討.....117 黒田 顕慈 ¹ 、八代 正和 ^{1,2} 、梅野 真吾 ^{1,2} 、奥野 倫久 ^{1,2} 、三木 友一朗 ^{1,2} 、増田 剛 ^{1,2} 、木下 春人 ^{1,2} 、平川 弘聖 ¹ 、大平 雅一 ¹ ¹ 大阪市立大学大学院 腫瘍外科 ² 大阪市立大学大学院 癌分子病態制御学
P4-2	Quizartinib 耐性急性骨髄性白血病における分子標的としての HSP90.....118 片山 和浩、野口 耕司、杉本 芳一 慶應義塾大学・薬学部・化学療法学講座
P4-3	抗 BCR-ABL 活性を持つ植物由来五環性トリテルペノイド.....118 藤田 美歌子 ¹ 、大塚 雅巳 ² ¹ 熊本大学薬学部附属創薬研究センター ² 熊本大学大学院生命科学研究部生体機能分子合成学分野
P4-4	PKC 阻害剤により抗がん剤誘導末梢神経障害を抑制できる.....119 加藤 菜月、椿 正寛、武田 朋也、河本 雄一、川島 啓司、西田 升三 近畿大・薬・薬物治療学
P4-5	アミノ酸飢餓により引き起こされる Integrated Stress Response 選択的な阻害剤の性状解析.....119 加藤 優 ^{1,2} 、杉本 芳一 ² 、富田 章弘 ¹ ¹ (公財)がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部 ² 慶應義塾大学 薬学部 化学療法学講座

P4-6	レンパチニブのヒト肝癌細胞株に対する増殖抑制効果の基礎的検討.....120 小笠原 幸子、矢野 博久 久留米大学医学部病理学講座
P4-7	長期ニロチニブ治療中に肝内胆管癌を合併した慢性骨髄性白血病(CML)の1例.....120 仲野 彩 ¹ 、薄井 紀子 ¹ 、塩田 祐子 ¹ 、大場 理恵 ¹ 、福島 僚子 ¹ 、石井 敬人 ¹ 、矢野 真吾 ² 、土橋 史明 ¹ ¹ 東京慈恵会医科大学附属第三病院 腫瘍・血液内科 ² 東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科
P4-8	EGFR 阻害薬の耐性機構を基盤としたシーケンス治療が有効であった EGFR 変異陽性肺腺癌の1例.....121 西岡 直哉、山田 忠明、谷村 恵子 京都府立医科大学 呼吸器内科学教室

5月16日(水) 16:30-17:12

E会場 3F コスモスホール II

ポスターセッション5

耐性因子・感受性因子

【モデレーター】江夏 総太郎(日本イーライリリー株式会社 研究開発本部オンコロジー領域)	
P5-1	エンザルタミド耐性を克服する前立腺癌治療薬シードの探索.....121 加賀谷 紀貴 ¹ 、濱村 祐輝 ² 、田代 悦 ² 、新家 一男 ¹ 、井本 正哉 ² ¹ 産業技術総合研究所 生命工学領域 創薬基盤研究部門 ² 慶應義塾大学 理工学部 生命情報学科
P5-2	多発性骨髄腫での RANK/RANKL を介した CAM-DR は Src 経路阻害により克服できる.....122 地主 みなみ、椿 正寛、武田 朋也、河本 雄一、田畑 光希、西田 升三 近畿大・薬・薬物治療学
P5-3	olaparib 耐性細胞を用いた耐性形質の解析.....122 野々宮 悠真、野口 耕司、片山 和浩、杉本 芳一 慶應義塾大学・薬学部・化学療法学講座
P5-4	Nicotinamide phosphoribosyltransferase 阻害抗がん剤に対する耐性機構.....123 佐藤 聡、荻野 暢子、田沼 靖一 東京理科大学薬学部生化学研究室
P5-5	Y-box binding protein YB-1 活性化を標的とした乳癌の内分泌治療耐性の克服治療.....123 柴田 智博 ¹ 、渡 公佑 ¹ 、河原 明彦 ² 、和泉 弘人 ³ 、村上 雄一 ^{1,4} 、桑野 信彦 ⁴ 、小野 真弓 ¹ ¹ 九州大学大学院 薬学研究院 創薬腫瘍科学講座 ² 久留米大学病院 病理部 ³ 産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学 ⁴ 聖マリア健康科学研究所
P5-6	胃がん細胞株における新規オキサリプラチン耐性因子 SDF-2 の同定.....124 田中 昌子 ¹ 、八代 正和 ² ¹ 早稲田大学 先進理工学部 生命医科学科 ² 大阪市立大学大学院 医学研究科 癌分子病態制御学
P5-7	3次元培養法による薬剤耐性細胞株の評価.....124 伊東 里紗 ¹ 、山岡 利光 ² 、大森 亨 ² 、西尾 和人 ³ 、鈴木 俊宏 ¹ ¹ 明治薬科大学 薬学部 分析化学教室 ² 昭和大学 腫瘍分子生物学研究所 ³ 近畿大学 医学部 ゲノム生物学教室

ポスターセッション6

がん微小環境・血管新生・低酸素

【モデレーター】磯江 敏幸(北海道大学病院 臨床研究開発センター)

- P6-1 AMP 活性化プロテインキナーゼ活性化薬メトホルミンの殺細胞効果に対する細胞外酸性 pH の関与.....125
小田桐 由衣、松尾 泰佑、佐塚 泰之
岩手医科大学 薬学部 創剤学講座
- P6-2 ALK 陽性非小細胞肺癌細胞株を用いた休眠がん細胞標的薬剤の薬効評価125
遠藤 みのり¹、門之園 哲哉¹、口丸 高弘¹、井上 正宏²、近藤 科江¹
¹東京工業大学 生命理工学院
²大阪国際がんセンター 生化学部
- P6-3 Intervenolin による胃間質細胞の調節を介した胃がん細胞の増殖抑制.....126
吉田 潤次郎、立田 大輔、雨宮 昌秀、川田 学
微生物化学研究所 第1生物活性研究部
- P6-4 膵がん細胞株におけるグルコース飢餓下でのミトコンドリア機能の重要性.....126
國政 和宏、富田 章弘
(公財)がん研 がん化療セ ゲノム研
- P6-5 低酸素誘導因子 (HIF-1) のタンパク質間相互作用 (PPI) を標的とした α ヘリックス模倣低分子の設計・合成・生物活性評価.....127
植田 大樹、中村 浩之
東京工業大学 科学技術創生研究院 化学生命科学研究所
- P6-6 腎細胞がん細胞の好中球依存的な肺転移促進機構とエピゲノム変化との関連性.....127
西田 純、高橋 恵生、江幡 正悟、宮園 浩平
東京大学 大学院医学系研究科 分子病理学分野

5月16日(水) 13:20-13:50

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション1

細胞周期

【司会】川田 学(微生物化学研究所 第1生物活性研究部)

細胞周期

正井 久雄

東京都医学総合研究所 ゲノム医科学研究分野

5月16日(水) 13:55-14:25

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション2

エピジェネティクス

【司会】宮寺 和孝(大鵬薬品工業株式会社 研究本部 第一研究所)

エピジェネティクス

沖 昌也

福井大学大学院工学研究科 生物応用化学専攻

5月16日(水) 14:30-15:00

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション3

細胞培養、spheroid

【司会】今村 健志(愛媛大学大学院医学系研究科分子病態医学講座)

細胞培養、spheroid

井上 正宏

京都大学医学研究科クリニカルバイオリソース研究開発講座

5月16日(水) 15:05-15:35

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション4

FACS,セルソーター,骨髄腫の為のMRD

【司会】西村 倫子((公財)がん研究会有明病院 血液腫瘍科)

FACS,セルソーター,骨髄腫の為のMRD

鈴木 一史

東京慈恵会医科大学附属柏病院 腫瘍・血液内科

5月16日(水) 15:40-16:10

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション5

共焦点顕微鏡,マウス透明化技術、in vivo imaging

【司会】 小島 清嗣 (オリンパス株式会社 科学マーケティング本部 科学マーケティング1部)

共焦点顕微鏡,マウス透明化技術、in vivo imaging

三嶋 雄二

(公財) がん研究会 がん化学療法センター 臨床部

5月16日(水) 16:15-16:45

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション6

ChesonとRECIL2017,画像診断による効果判定

【司会】 土橋 史明 (東京慈恵会医科大学附属第三病院 腫瘍・血液内科)

ChesonとRECIL2017,画像診断による効果判定

横山 雅大

(公財) がん研究会 有明病院 血液腫瘍科

5月16日(水) 16:50-17:20

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション7

細胞小胞体

【司会】 根東 攝 (中外製薬株式会社)

細胞小胞体

富田 章弘

(公財) がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部

5月16日(水) 17:25-17:55

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション8

血栓

【司会】 照井 康仁 ((公財) がん研究会有明病院 血液腫瘍科)

血栓

窓岩 清治

東京都済生会中央病院 臨床検査医学科

5月16日(水) 18:00-18:30

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション9

DNA合成と細胞増殖

【司会】 清宮 啓之 ((公財) がん研究会 がん化学療法センター 分子生物治療研究部)

DNA合成と細胞増殖

野口 耕司

慶應義塾大学薬学部化学療法学講座

5月17日(木) 9:00-9:30

A会場 3F コスモスホールI

Year in Review 3

PMDAにおける医薬品承認審査の最新動向2018

【モデレーター】西岡 安彦(徳島大学大学院医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野)

YIR3	PMDAにおける医薬品承認審査の最新動向2018	55
	矢守 隆夫 独立行政法人医薬品医療機器総合機構	

5月17日(木) 9:30-10:00

A会場 3F コスモスホールI

Year in Review 4

細胞外小胞顆粒によるがん悪性化機構の解明と治療への応用

【モデレーター】矢野 聖二(金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科)

YIR4	細胞外小胞顆粒によるがん悪性化機構の解明と治療への応用	55
	小坂 展慶、落谷 孝広 国立がん研究センター研究所分子細胞治療研究分野	

5月17日(木) 10:00-12:00

A会場 3F コスモスホールI

シンポジウム 2

がん免疫療法の今後の展開のための基礎研究

【モデレーター】西川 博嘉(国立がん研究センター研究所 腫瘍免疫研究分野
先端医療開発センター 免疫TR分野)

畠 清彦(国際医療福祉大学医学部 血液内科/国際医療福祉大学三田病院 悪性リンパ腫・
血液腫瘍センター/ (公財) がん研究会 がん化学療法センター)

S2-1	効果的ながん免疫療法の確立に向けた基礎研究	59
	杉山 大介 ¹ 、西川 博嘉 ^{1,2} ¹ 名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞免疫学 ² 国立がん研究センター研究所 腫瘍免疫研究分野	
S2-2	急ピッチで進む日・独・米、肉腫ゲノム情報解析の最前線	59
	高橋 克仁 国際医療福祉大学三田病院 肉腫センター	
S2-3	免疫チェックポイント阻害剤抗PD-1抗体ニボルマブの今後の展開について	60
	吉田 隆雄 小野薬品工業株式会社 オンコロジー研究開発センター	
S2-4	Considerations for Optimizing Yield of Informative Data	60
	Phillip Wong Memorial Sloan Kettering Cancer Center	

5月17日(木) 12:15-13:05

A会場 3F コスモスホールI

ランチョンセミナー3

非小細胞肺癌の免疫療法 ～セカンドステージを迎えて～

【モデレーター】 桑野 和善 (東京慈恵会医科大学 呼吸器内科)

LS3 非小細胞肺癌の免疫療法 ～セカンドステージを迎えて～

岸 一馬

虎の門病院 呼吸器センター内科

【共催】 中外製薬株式会社

5月17日(木) 13:40-14:10

A会場 3F コスモスホールI

鶴尾隆賞受賞講演

【モデレーター】 長田 裕之 (日本がん分子標的治療学会 理事長)

T IAPによる細胞死・細胞周期制御とIAPのユビキチンリガーゼ活性を利用したプロテインノックダウン法の開発.....156

内藤 幹彦

国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部

5月17日(木) 14:10-15:00

A会場 3F コスモスホールI

基調講演2

成人T細胞白血病の分子基盤とがんの免疫回避に関わる新たなメカニズムについて

【モデレーター】 藤田 直也 ((公財)がん研究会 がん化学療法センター)

K2 成人T細胞白血病の分子基盤とがんの免疫回避に関わる新たなメカニズムについて.....53

小川 誠司

京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学

シンポジウム 3

肺がんの分子標的薬治療と耐性機序

【モデレーター】片山 量平 ((公財) がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部)
西尾 和人 (近畿大学医学部 ゲノム生物学教室)

- S3-1 肺がん分子標的薬耐性メカニズムの探索と耐性機構予測への挑戦61
片山 量平¹、岡田 康太郎²、藤田 直也¹
¹ (公財) がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部
² (公財) がん研究会 がん化学療法センター
- S3-2 肺がん分子標的薬治療と薬剤耐性61
前門戸 任
岩手医科大学
- S3-3 免疫チェックポイント阻害剤と制御性 T 細胞62
富樫 庸介
国立がん研究センター 免疫TR分野
- S3-4 肺がん関連遺伝子変異のハイスループット機能解析62
高阪 真路¹、長野 匡晃²、間野 博行³
¹ 国立がん研究センター研究所 細胞情報学分野
² 東京大学大学院医学系研究科 呼吸器外科
³ 国立がん研究センター研究所
- S3-5 上皮間葉転換 (EMT) による ALK-TKI 耐性機構63
竹内 伸司^{1,2}
¹ 金沢大学附属病院 がんセンター
² 金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科

イブニングセミナー 1

多発性骨髄腫の分子生物学的不均一性への挑み

【モデレーター】中世古 知昭 (国際医療福祉大学医学部 血液内科学)

- ES1 多発性骨髄腫の分子生物学的不均一性への挑み
黒田 純也
京都府立医科大学 血液内科学

【共催】アッヴィ合同会社

5月17日(木) 10:00-11:00

B会場 5F オリオン

ワークショップ5

バイオマーカー I

【モデレーター】杉尾 賢二 (大分大学医学部 呼吸器・乳腺外科学講座)

近藤 豊 (名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学)

- W5-1 扁平上皮癌における新規 p63 結合分子 STXBP4 による腫瘍悪性化とがん分子標的薬の探索78
 六代 範¹、堀込 瑛介¹、田中 大暉¹、調 憲²、桑野 博行²、西山 正彦²
¹群馬大学・医・病態腫瘍薬理学
²群馬大学附属病院・総合外科センター
- W5-2 EGFR 又は HER2 exon 20 変異陽性非小細胞肺癌の臨床的特徴78
 武田 真幸¹、坂井 和子²、高濱 隆幸¹、中川 和彦¹、西尾 和人²
¹近畿大学 医学部 腫瘍内科
²近畿大学 医学部 ゲノム生物学
- W5-3 レチノイドによる MYCN 陽性肝癌幹細胞の選択排除79
 秦 咸陽、小嶋 聡一
 理研ライフサイエンス技術基盤研究センター
- W5-4 固形癌に対する腫瘍遺伝子網羅的解析結果に基づく分子標的治療薬選択が与える影響79
 高濱 隆幸^{1,2}、武田 真幸²、坂井 和子¹、中川 和彦²、西尾 和人¹
¹近畿大学医学部ゲノム生物学教室
²近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門
- W5-5 レナリドミド感受性株の長期馴養後耐性バリエーションの遺伝子発現変動80
 伊波 英克¹、堀 光雄²
¹大分大学 医学部 微生物学講座
²茨城県立中央病院 血液内科

5月17日(木) 11:00-12:00

B会場 5F オリオン

ワークショップ7

がん微小環境・血管新生・低酸素

【モデレーター】大谷 直子 (大阪市立大学大学院医学研究科 病態生理学)

大石 智一 ((公財)微生物化学研究会 微生物化学研究所 沼津支所)

- W7-1 Apc 変異マウスの腸管腫瘍形成における MyD88 の役割の解析83
 青木 正博、梶野 リエ
 愛知県がんセンター研究所
- W7-2 UCHL1-HIF-1 経路を指向した分子標的抗癌剤開発研究83
 李 雪氷¹、服部 明¹、原田 浩²、後藤 容子³、掛谷 秀昭¹
¹京都大学大学院薬学研究科
²京都大学放射線生物研究センター
³京都大学大学院医学研究科
- W7-3 栄養飢餓選択的細胞毒性を示す Auranofin の作用機序84
 小野寺 威文、百瀬 功、川田 学
 (公財)微生物化学研究会 微生物化学研究所 沼津支所

W7-4 がん関連線維芽細胞由来液性因子によるがん幹細胞様細胞の維持84
 村山 貴彦¹、西村 建徳²、後藤 典子²
¹ 東京大学 医科学研究所 分子療法分野
² 金沢大学 がん進展制御研究所 分子病態研究分野

W7-5 血管内皮細胞における NDRG1 は VEGF/VEGFR2/PLC γ 1 シグナルを特異的に活性化する—腫瘍血管新生抑制の有用な標的となるか?85
 渡 公佑¹、柴田 智博¹、河原 明彦²、村上 雄一^{1,3}、小野 眞弓¹
¹ 九州大学大学院 薬学研究院 創薬腫瘍科学講座
² 久留米大学病院 病理部
³ 聖マリア健康科学研究所

5月17日 (木) 12:15-13:05

B会場 5F オリオン

ランチョンセミナー4

免疫チェックポイント阻害剤と癌治療の進歩～臨床と基礎の視点から～

【モデレーター】高橋 俊二 ((公財)がん研究会有明病院 化学療法部 総合腫瘍科)

LS4-1 肺癌における免疫チェックポイント阻害薬の臨床～医師主導臨床試験の氷河期～
 坂 英雄
 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 呼吸器科・臨床腫瘍科 がん総合診療部

LS4-2 イメージングが拓く、免疫チェックポイント分子による細胞活性化の時空間的制御機構
 横須賀 忠
 東京医科大学 免疫学分野

【共催】MSD株式会社／大鵬薬品工業株式会社

5月17日 (木) 15:10-16:10

B会場 5F オリオン

ワークショップ9

がん幹細胞／不均一化

【モデレーター】平尾 敦 (金沢大学 がん進展制御研究所)
 秋永 士朗 (アキュルナ株式会社)

W9-1 タンキラーゼ阻害剤による大腸がん幹細胞の標的化とその作用メカニズム88
 張 明奎^{1,2}、馬島 哲夫¹、清宮 啓之^{1,2}
¹(公財)がん研・がん化療セ・分子生物治療
²東大院・新領域・メディ・がん分子標的

W9-2 疾患特異的 iPS 細胞による慢性骨髄単球性白血病の原因遺伝子 SLITRK4 の同定88
 山崎 翔¹、宮内 将¹、黒川 峰夫^{1,2}
¹ 東京大学 医学部 血液・腫瘍内科
² 東京大学 医学部附属病院 無菌治療部

W9-3 前立腺がん細胞株は培養条件により癌幹細胞様変化及び可塑性を示す89
 内海 健
 九州大学・医・臨床検査医学

W9-4 胃がんの薬剤耐性に寄与する CD44v 陽性細胞を標的とする化合物の in silico 探索89
 馬島 哲夫¹、岩崎 里紗^{1,2}、川上 隆兵^{1,2}、清宮 啓之^{1,2}
¹(公財)がん研・がん化療セ・分子生物治療
²東大院・新領域・メディ・がん分子標的

W9-5	末梢循環骨髄腫細胞は多発性骨髄腫病巣のゲノムプロファイルを代表する？90
	三嶋 雄二 ¹ 、照井 康仁 ¹ 、畠 清彦 ^{1,2}
	¹ (公財) がん研 化療セ 臨床部
	² 国際医療福祉大 医学部 血液内科

5月17日 (木) 16:10-17:10

B会場 5F オリオン

ワークショップ11

バイオマーカー II・リキッドバイオプシー

【モデレーター】 松阪 論 (筑波大学医学医療系 臨床研究地域イノベーション学)
富樫 謙一 (ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社)

W11-1	MYD88 L265P 変異はびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の中樞神経再発の指標である93
	西村 倫子、三嶋 裕子、三嶋 雄二、照井 康仁、畠 清彦
	(公財) がん研有明病院 血液腫瘍科
W11-2	肝細胞癌における末梢血液分画比を用いた腫瘍免疫に関する新たなバイオマーカー93
	伊藤 心二
	九州大学大学院 消化器・総合外科
W11-3	肝細胞がんの新たな早期診断法の開発94
	中川 将利 ^{1,2} 、吉田 栄作 ¹ 、吉村 徹 ¹ 、清木 元治 ³ 、越川 直彦 ²
	¹ アボットジャパン株式会社 診断薬・機器事業部
	² 神奈川県立がんセンター 臨床研究所 がん生物学部
	³ 金沢大学 医薬保健研究域・医学系
W11-4	転移性腎細胞癌患者の血中循環腫瘍細胞における PD-L1 発現の解析94
	永田 政義、堀江 重郎
	順天堂大学大学院医学研究科 泌尿器外科学
W11-5	Src がんシグナルによるエクソソーム形成亢進メカニズム95
	小根山 千歳
	愛知県がんセンター研究所

5月17日(木) 10:00-11:00

C会場 5F スバル

ワークショップ6

発がん機構・希少がん

【モデレーター】 浜本 隆二 (国立がん研究センター研究所 がん分子修飾制御学分野)
 関 義信 (新潟大学魚沼地域医療教育センター 血液内科)

- W6-1 急性骨髄性白血病において高発現するヒストン脱メチル化酵素の機能解析80
 上田 健、古室 暁義、天野 恭志、岡田 斉
 近畿大学医学部生化学教室
- W6-2 TCGA データベースと早期・晩期胃癌のゲノム情報を組み合わせたマイクロサテライト不安定性癌の発生81
 高岡 慎弥¹、弘津 陽介²、望月 仁^{1,2}、小嶋 裕一郎¹、小俣 政男^{1,3}
¹山梨県立中央病院 消化器内科
²山梨県立中央病院 ゲノム解析センター
³東京大学
- W6-3 FGFR2 シグナルをドライバー分子とするスキルス胃癌細胞株 OCUM-14 の樹立と有用性81
 奥野 倫久^{1,2}、八代 正和^{1,2}、増田 剛¹、梅野 真吾^{1,2}、黒田 顕慈^{1,2}、三木 友一朗^{1,2}、平川 弘聖¹、大平 雅一¹
¹大阪市立大学大学院 腫瘍外科
²大阪市立大学大学院 癌分子病態制御学
- W6-4 子宮内膜オルガノイドへの in vitro 遺伝子導入による癌肉腫の誘導82
 丸 喜明、筆宝 義隆
 千葉県がんセンター研究所 発がん制御研究部
- W6-5 ステロイド骨格を持つ薬抗がん剤の芽球性形質細胞様樹状細胞への効果82
 吉田 安宏、森田 健太郎
 産業医大 免疫学・寄生虫学

5月17日(木) 11:00-12:00

C会場 5F スバル

ワークショップ8

がん遺伝子・がん抑制遺伝子

【モデレーター】 片桐 豊雅 (徳島大学 先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野)
 和田 守正 (長崎国際大学薬学部)

- W8-1 新規セサミノール結合蛋白質 ANT2 による cyclin D1 の多面的制御機構の解明85
 渡邊 元樹、飯泉 陽介、曾和 義広、酒井 敏行
 京都府立医科大学大学院医学研究科 分子標的癌予防医学
- W8-2 高異型度卵巣漿液性がんにおける MARK3 のがん抑制遺伝子としての役割86
 町野 英徳^{1,2}、金子 修三¹、曾根 献文³、浜本 隆二^{1,4}
¹国立がん研究センター研究所 がん分子修飾制御学分野
²東京大学大学院医学系研究科・医学部 生殖・発達・加齢医学専攻
³東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科
⁴理化学研究所 革新知能統合研究センターがん探索医療研究チーム
- W8-3 核小体を標的とした p53 活性化機構による新たな癌治療86
 河原 康一、古川 龍彦
 鹿児島大・院医歯・分子腫瘍

- W8-4 大腸癌において7番染色体短腕(7p)に存在する DEAD Box Helicase56 (DDX56) の増幅が癌化に影響する splicing variant を誘導する.....87
 増田 隆明、佐藤 晋彰、鶴田 祐介、江口 英利、三森 功士
 九州大学病院別府病院外科
- W8-5 トリプルネガティブ乳がんの悪性化における RHBDL2 の役割解明と創薬開発.....87
 松下 洋輔、小松 正人、吉丸 哲郎、片桐 豊雅
 徳島大学 先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野

5月17日(木) 12:15-13:05

C会場 5F スバル

ランチョンセミナー5

Precision medicineの確立を目指した大規模肺癌ゲノムスクリーニング

【モデレーター】河野 隆志 (国立がん研究センター研究所 ゲノム生物学研究分野)

LS5 Precision medicineの確立を目指した大規模肺癌ゲノムスクリーニング

松本 慎吾

国立がん研究センター 東病院 呼吸器内科

【共催】サーモフィッシュャーサイエンティフィック株式会社

5月17日(木) 15:10-16:10

C会場 5F スバル

ワークショップ10

耐性因子・感受性因子

【モデレーター】向田 直史 (金沢大学がん進展制御研究所)

馬場 英司 (九州大学大学院医学研究院 九州連携臨床腫瘍学講座)

W10-1 臓器間 heterogeneity と osimertinib 耐性90

西山 明宏、谷本 梓、竹内 伸司、矢野 聖二

金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科

W10-2 トリプルネガティブ乳癌細胞で微小管重合阻害剤 Eribulin に発現誘導される EpCAM による薬剤耐性91

田中 直、伊東 潤二、佐藤 史顕、戸井 雅和

京都大学大学院 医学研究科 乳腺外科学

W10-3 CRISPR スクリーニングによる分子標的薬耐性・感受性機構の解析91

遊佐 宏介

ウエルカムトラスト サンガー研究所

W10-4 新規ゴルジ体阻害剤 M-COPA に対する獲得耐性機構の解析92

赤塚 明宣¹、岡村 睦美¹、大橋 愛美¹、椎名 勇²、吉松 賢太郎³、旦 慎吾¹

¹(公財)がん研究会 がん化療セ 分子薬理部

²東京理科大学 理学部応用化学科

³エーザイ株式会社

W10-5 Adriamycin 耐性多発性骨髄腫においてシグナル伝達経路を介した Bim 発現増加が耐性獲得の中心的役割を果たす。92

河本 雄一、椿 正寛、武田 朋也、浅野 良太、地主 みなみ、西田 升三

近畿大・薬・薬物治療学

ワークショップ12

がん代謝

【モデレーター】古川 龍彦（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 分子腫瘍学）
永澤 秀子（岐阜薬科大学 創薬化学大講座 薬化学研究室）

- W12-1 MicroRNAによる新規がん遺伝子 PTBP1 の調節機構と Warburg 効果との関連性.....95
谷口 高平^{1,2}、内山 和久^{1,3}、赤尾 幸博³
¹大阪医科大学 一般・消化器外科学教室
²大阪医科大学 救急医学教室
³岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科
- W12-2 新規ワールブルグ効果制御化合物の作用機序解析.....96
小林 大貴、吉田 稔
理化学研究所 創薬シード化合物探索基盤ユニット
- W12-3 テロメア損傷は、Sirtuin 遺伝子群の発現を抑制し、肝線維化を促進する。.....96
天野 恭志、上田 健、古室 暁義、岡田 斉
近畿大学 医学部 生化学教室
- W12-4 がん細胞におけるエピジェネティクス変化と鉄代謝.....97
増井 憲太
東京女子医科大学 医学部 第一病理

イブニングセミナー2

多発性骨髄腫の抗体療法～深い奏效を目指して～

【モデレーター】照井 康仁（(公財)がん研究会有明病院 血液腫瘍科）

- ES2 多発性骨髄腫の抗体療法～深い奏效を目指して～
石田 禎夫
日本赤十字社医療センター 血液内科

【共催】ヤンセンファーマ株式会社

5月17日(木) 17:20-17:56

E会場 3F コスモスホールII

ポスターセッション7

転移・浸潤・発がん機構

【モデレーター】井上 正宏(京都大学医学研究科クリニカルバイオリソース研究開発講座)

- P7-1 肺がん幹細胞性の維持における受容体チロシンキナーゼ AXL の重要性**.....128
並木 梢^{1,2}、横山 翔大^{1,2}、飯田 圭介³、ラワンカン アンチェリー^{1,2}、菅沼 雅美^{1,2}
¹埼玉大学大学院 理工学研究科
²埼玉県立がんセンター 臨床腫瘍研究所
³千葉大学大学院 理学研究院
- P7-2 乳がん遺伝子解析のための遺伝子改変マウス乳腺の構築法**.....128
石川 公輔¹、仙波 憲太郎^{2,3}
¹バイオ産業情報化コンソーシアム
²早稲田大学大学院 先進理工学研究科
³福島医科大学
- P7-3 血小板における ASK1 が ADP 受容体 P2Y₁₂ のリン酸化を介して肺へのがん転移を制御する**129
神山 美樹、大亀 美桜、名黒 功、一條 秀憲
東京大学大学院 薬学系研究科 細胞情報学教室
- P7-4 原発不明がんの治療のための標的分子**.....129
藤田 至彦¹、坂井 和子¹、倉田 宝保²、中川 和彦³、西尾 和人¹
¹近畿大学 医学部 ゲノム生物学教室
²関西医科大学内科学第一講座
³近畿大学 医学部 腫瘍内科学教室
- P7-5 低転移性の結腸がん細胞を用いた *in vivo* スクリーニングによる新規がん転移制御因子の探索**.....130
木村 美紗^{1,2}、藤田 直也^{1,2}、竹本 愛¹
¹(公財)がん研究会 がん化学療法センター
²東京大学大学院 新領域創成科学研究科
- P7-6 がん転移過程の生体イメージングのためのがんメダカモデルの開発**.....130
齋藤 卓^{1,2}、今村 健志^{1,2}
¹愛媛大学 大学院医学系研究科 分子病態学講座
²愛媛大学 医学部附属病院 先端医療創生センター

5月17日(木) 17:20-17:56

E会場 3F コスモスホールII

ポスターセッション8

増殖因子・サイトカイン

【モデレーター】福島 慶子(全薬工業株式会社 研究開発センター)

- P8-1 神経膠芽腫の HMGB1/RAGE 相互作用を標的とした新規がん戦略**.....131
稲田 愛、佐藤 聡、田沼 靖一
東京理科大学 薬学部 生化学教室
- P8-2 HGF による骨髄間質細胞および骨芽細胞における RANKL 発現促進効果を介した骨破壊機序の解明**
131
田畑 光希、椿 正寛、武田 朋也、加藤 菜月、西田 升三
近畿大・薬・薬物治療学

P8-3	ホルモン受容体陽性乳癌細胞における HER3 分解機構の解明.....132 須賀 淳子、佐治 重衡 福島県立医科大学 医学部 腫瘍内科学講座
P8-4	大腸がん肝転移に関する肝臓間質細胞由来因子の同定.....132 大石 智一 ¹ 、大庭 俊一 ¹ 、川田 学 ^{1,2} ¹ 微生物化学研究所(微化研) 沼津支所 ² 微生物化学研究所(微化研) 第1生物活性研究部
P8-5	IL-1 受容体拮抗薬は Hippo 経路の破綻した悪性中皮腫細胞の進展を抑制する.....133 向井 智美 ¹ 、松下 明弘 ¹ 、佐藤 龍洋 ¹ 、藤下 晃章 ² 、青木 正博 ² 、関戸 好孝 ¹ ¹ 愛知県がんセンター研究所 分子腫瘍学部 ² 愛知県がんセンター研究所 分子病態学部
P8-6	大腸がんにおける MEK/ERK 経路を介した KIT の発現調節機構.....133 福司 弥生、齊藤 正英、櫻井 宏明 富山大学 薬学部 がん細胞生物学研究室

5月17日(木) 17:20-18:02

E会場 3F コスモスホール II

ポスターセッション9

がん遺伝子・がん抑制遺伝子・がん代謝

【モデレーター】伊藤 昭博(東京薬科大学生命科学部 細胞情報科学)

P9-1	EGFRvIII 発現がん細胞の 3D-スフェロイド形成抑制を起こす新規呼吸鎖複合体 I 基質化合物の作用機構解析.....134 渥美 園子 ¹ 、川田 学 ¹ 、澁谷 正史 ² ¹ 微生物化学研究所 第1生物活性研究部 ² 上武大学
P9-2	がん特異的エネルギー代謝の破綻と薬剤耐性.....134 倉永 祐希 ¹ 、杉戸 信彦 ¹ 、篠原 悠 ¹ 、辻野 拓也 ^{1,3} 、徳丸 剛久 ^{1,2} 、赤尾 幸博 ¹ ¹ 岐阜大学大学院 連合創薬医療情報研究科 ² 岐阜大学大学院 腫瘍外科学分野 ³ 大阪医科大学 腎泌尿器外科
P9-3	解糖系阻害剤 2-Deoxy-D-glucose によるシスプラチン高感受性化.....135 岡本 有加、小井土 大、富田 章弘 (公財) がん研 がん化療セ ゲノム
P9-4	肺腺癌における Hippo 経路分子 MOB1 の機能解析.....135 安藤 伸尚、岡本 勇、中西 洋一 九州大学大学院医学研究院 胸部疾患研究施設
P9-5	Hippo 経路の下流で働く転写因子 TEAD のリジン長鎖アシル化修飾による活性制御.....136 伊藤 昭博 ^{1,2} 、吉田 稔 ^{2,3} ¹ 東薬大・生命 ² 理研・環境資源・ケミカルゲノミクス ³ 東大院・農生科・応生工
P9-6	YAP シグナルを標的とした新規抗がん剤の開発.....136 中野 なおこ ¹ 、正田 卓司 ² 、服部 隆行 ³ 、栗原 正明 ² 、内藤 幹彦 ³ 、伊東 進 ¹ ¹ 昭和薬科大学 薬学部 生化学研究室 ² 国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部 ³ 国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部

P9-7	ErbB4 に依存した増殖を示す肺がん細胞株とその治療薬の同定.....	137
	田中 伯享、大橋 愛美、且 慎吾 (公財) がん研究会 がん化学療法センター	

5月17日(木) 17:20-17:56

E会場 3F コスモスホールII

ポスターセッション10

細胞死/オートファジー

【モデレーター】野口 耕司 (慶應義塾大学薬学部 化学療法学講座)

P10-1	トレハロースリボソームの乳がんに対する治療効果.....	137
	桑原 啓司、波多江 悠、市原 英明、松本 陽子 崇城大学 大学院 工学研究科 応用生命科学専攻	
P10-2	ハイブリッドリボソームの大腸がん細胞への特異的蓄積による抗腫瘍効果.....	138
	奥村 真樹、辻村 健太、市原 英明、松本 陽子 崇城大学 大学院 工学研究科 応用生命科学専攻	
P10-3	カチオンリボソームの膵臓がんに対する <i>in vitro</i> および <i>in vivo</i> での治療効果.....	138
	元村 宗誠、栗山 公佑、市原 英明、松本 陽子 崇城大学 大学院 工学研究科 応用生命科学専攻	
P10-4	Statins による Ras/ERK 及び Ras/mTOR 経路阻害を介した Bim 発現増加でのアポトーシス誘導機序.....	139
	西田 升三、椿 正寛、武田 朋也、河本 雄一、加藤 菜月 近畿大・薬・薬物治療学	
P10-5	微小環境ストレス下でのがん細胞の生存に対する乳酸の影響.....	139
	松尾 泰佑、佐塚 泰之 岩手医科大学 薬学部 創剤学講座	
P10-6	Siphonodictyal B による大腸癌細胞のアポトーシス誘導機序の解析.....	140
	近松 園子 ¹ 、西條 憲 ¹ 、今井 源 ¹ 、成田 紘一 ³ 、加藤 正 ² 、石岡 千加史 ¹ ¹ 東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野 ² 東北医科薬科大学薬学部創薬研究センター ³ 東北医科薬科大学薬学部医薬合成化学教室	

ポスターセッション 11

ケミカルバイオロジー

【モデレーター】百瀬 功 ((公財)微生物化学研究会 微生物化学研究所 沼津支所)

- P11-1 **がん細胞に活性酸素種産生を誘導するテトラクロロピリジン誘導体の発見**140
河村 達郎¹、渡辺 信元¹、長田 裕之^{1,2}
¹理研 CSRS・理研-マックスプランク連携
²理研 CSRS・ケミカルバイオロジー
- P11-2 **がん細胞の遊走を阻害する放線菌由来 ketomycin のスクリーニングと乳がん MDA-MB-231 細胞における 2D および 3D 浸潤の抑制**141
Yinzhi Lin、梅澤 一夫
愛知医科大学 医学部 分子標的医薬講座
- P11-3 **海洋由来天然物 DC1149B の栄養飢餓環境選択的がん細胞増殖阻害活性**141
君嶋 敦、唐 睿、石田 良典、荒井 雅吉
大阪大学
- P11-4 **プロテオミクスを用いた抗がん活性天然化合物 pyrenolide A の作用解析**142
二村 友史¹、青野 晴美¹、永澤 生久子¹、河村 達郎²、室井 誠¹、川谷 誠¹、長田 裕之¹
¹理研 CSRS・ケミカルバイオロジー
²理研 CSRS・理研-マックスプランク連携
- P11-5 **DSE-FRET assay を用いた RelA-DNA 結合阻害化合物の探索及び機能解析**142
藤田 豪¹、城間 喜智²、木根原 匡希²、田原 栄俊²
¹広島大学 薬学部 薬科学科 細胞分子生物学研究室
²広島大学 大学院 医歯薬保健学研究科 細胞分子生物学研究室
- P11-6 **プロテインノックダウン法を利用した新規 YAP シグナル阻害剤の開発**143
石川 遼¹、正田 卓司²、服部 隆行³、栗原 正明²、内藤 幹彦³、中野 なおこ¹、伊東 進¹
¹昭和薬科大学 薬学部 生化学研究室
²国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部
³国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部
- P11-7 **すい臓がん細胞と間質細胞の共培養によるキナーゼ阻害剤抵抗性の解析**143
立田 大輔、吉田 潤次郎、川田 学
微生物化学研究所 第1活性研究部

ポスターセッション 12

希少がん・新規アプローチ

【モデレーター】谷口 俊一郎 (信州大学医学部 包括的がん治療学)

- P12-1 **CDK4 は乳房外パジェット病にて強発現している**144
梶原 一亨
熊本大学 皮膚科
- P12-2 **タモキシフェン、セレコックスが著効した腹腔内巨大デスマイド型線維腫症の一例**144
花村 文康¹、有山 寛¹、草場 仁志²、馬場 英司²
¹九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科
²九州大学大学院 九州連携臨床腫瘍学講座

P12-3	分子標的治療を施行した非淡明型腎細胞癌の臨床的検討	145
	大西 怜、藤本 直浩 産業医科大学 医学部 泌尿器科	
P12-4	ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) のための細胞膜透過性ホウ素クラスターの開発	145
	永澤 秀子、平山 祐 岐阜薬科大学	
P12-5	アンドロゲンレセプターサブライシングバリエント発現制御に関わる因子の探索研究	146
	山崎 洋子 ¹ 、大庭 俊一 ¹ 、百瀬 功 ¹ 、川田 学 ^{1,2} ¹ 微生物化学研究所 (微化研) 沼津支所 ² 微生物化学研究所 (微化研) 第1生物活性	
P12-6	C-mannosylation による R-spondin2 の機能制御	146
	水田 隼斗 ¹ 、丹羽 祐貴 ¹ 、堂前 直 ² 、清水 史郎 ¹ ¹ 慶應義塾大学 理工学部 応用化学科 ² 理化学研究所 生命分子解析ユニット	
P12-7	腸内細菌叢と腸管炎症・がん化のインタラクションに関する検討	147
	澤田 貴宏 ¹ 、中村 有貴 ² 、高濱 隆幸 ³ 、坂井 和子 ³ 、横山 省三 ² 、山上 裕機 ² 、西尾 和人 ³ ¹ 近畿大学ライフサイエンス研究所ゲノムセンター ² 和歌山県立医科大学 外科学第二講座 ³ 近畿大学医学部ゲノム生物学教室	

5月17日(木) 9:00-9:30

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション10

NGS

【司会】 富田 章弘 ((公財) がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部)

NGS

片岡 圭亮

国立がん研究センター研究所 分子腫瘍学分野

5月17日(木) 9:35-10:05

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション11

免疫チェックポイント

【司会】 田原 栄俊 (広島大学大学院医歯薬保健学研究科 細胞分子生物学研究室)

免疫チェックポイント

尾松 公平

(公財) がん研究会 有明病院 婦人科

5月17日(木) 10:10-10:40

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション12

チロシンキナーゼ ABL

【司会】 木村 晋也 (佐賀大学医学部医学科内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科)

チロシンキナーゼ ABL

薄井 紀子

東京慈恵会医科大学附属第三病院 腫瘍・血液内科

5月17日(木) 10:45-11:15

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション13

チロシンキナーゼ EGFR

【司会】 西尾 和人 (近畿大学医学部 ゲノム生物学教室)

チロシンキナーゼ EGFR

須田 健一

近畿大学医学部外科学教室 呼吸器外科部門

5月17日(木) 11:20-11:50

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション14

血管新生

【司会】 西尾 和人 (近畿大学医学部 ゲノム生物学教室)

血管新生

後東 久嗣

徳島大学大学院医歯学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野

5月17日(木) 13:10-13:40

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション15

耐性機序の研究方法

【司会】 井本 正哉 (慶應義塾大学理工学部 生命情報学科)

がん分子標的薬耐性機序の研究方法

片山 量平

(公財) がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部

5月17日(木) 13:45-14:15

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション16

PRO - CTCAE

【司会】 矢野 真吾 (東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科)

PRO - CTCAE

三嶋 裕子

(公財) がん研究会有明病院 血液腫瘍科

5月17日(木) 14:20-14:50

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション17

SAE、死亡例報告

【司会】 畠 清彦 (国際医療福祉大学医学部 血液内科/国際医療福祉大学三田病院 悪性リンパ腫・血液腫瘍センター/ (公財) がん研究会 がん化学療法センター)

SAE、死亡例報告

山崎 真澄

(公財) がん研究会有明病院

5月17日(木) 14:55-15:25

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション18

病棟薬剤師による服薬指導

【司会】 濱 敏弘 ((公財) がん研究会有明病院 薬剤部)

病棟薬剤師による服薬指導

根本 真記

(公財) がん研究会有明病院 薬剤部

5月17日(木) 15:30-16:00

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション19

CTC

【司会】 畠 清彦 (国際医療福祉大学医学部 血液内科/国際医療福祉大学三田病院 悪性リンパ腫・血液腫瘍センター / (公財) がん研究会 がん化学療法センター)

CTC

松阪 論

筑波大学医学医療系 臨床研究地域イノベーション学

5月17日(木) 16:05-16:35

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション20

FLT3阻害

【司会】 薄井 紀子 (東京慈恵会医科大学附属第三病院 腫瘍・血液内科)

FLT3 阻害

小島 研介

佐賀大学医学部附属病院 血液・呼吸器・腫瘍内科

5月17日(木) 16:40-17:10

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション21

in vitro dataの読み方

【司会】 藤田 直也 ((公財) がん研究会 がん化学療法センター)

in vitro dataの読み方

且 慎吾

(公財) がん研究会 がん化学療法センター 分子薬理部

5月17日(木) 17:15-17:45

F会場 6F 606

がん分子標的治療の基本講座 セッション22

PDC,PDX

【司会】 藤田 直也 ((公財) がん研究会 がん化学療法センター)

PDC,PDX

馬島 哲夫

(公財) がん研究会 がん化学療法センター 分子生物治療

5月18日(金) 9:00-9:30

A会場 3F コスモスホールI

Year in Review 5

消化器癌に対する分子標的治療薬

【モデレーター】吉野 孝之 (国立がん研究センター東病院 消化管内科)

YIR5	消化管癌に対する分子標的治療薬.....	56
	辻 靖	
	斗南病院 腫瘍内科 化学療法センター	

5月18日(金) 9:30-10:00

A会場 3F コスモスホールI

Year in Review 6

ABLチロシンキナーゼ阻害剤長期治療のピットホール-心血管障害のマネジメント-

【モデレーター】石岡 千加史 (東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野)

YIR6	ABLチロシンキナーゼ阻害剤長期治療のピットホール-心血管障害のマネジメント.....	56
	薄井 紀子	
	東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科	

5月18日(金) 10:00-12:00

A会場 3F コスモスホールI

シンポジウム 4

病理/分子病理の将来

【モデレーター】石川 雄一 ((公財)がん研究会 がん研究所 病理部)
小田 義直 (九州大学大学院医学研究院 形態機能病理)

S4-1	ゲノム異常と形態学.....	63
	竹内 賢吾	
	(公財)がん研究会 がん研究所 分子標的病理プロジェクト	
S4-2	がん間質のバイオロジーと診断・治療への応用の可能性.....	64
	榎本 篤	
	名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学	
S4-3	統合病理・遺伝子診断システムの確立を目指して.....	64
	西原 広史	
	慶應義塾大・医・腫瘍センター・ゲノム医療	
S4-4	Integration of pathology / molecular pathology in clinical care of lung cancer patients.....	65
	Mari Mino-Kenudson	
	Department of Pathology, Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School, Boston, USA	
S4-5	研究・新薬開発における病理学.....	65
	桑田 健	
	国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科	

ランチョンセミナー6

がん免疫療法の新時代における免疫チェックポイント阻害剤の役割と今後の展望

【モデレーター】岡本 勇 (九州大学病院 呼吸器科)

LS6 がん免疫療法の新時代における免疫チェックポイント阻害剤の役割と今後の展望

東 公一

久留米大学医学部 内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科

【共催】小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

5月18日(金) 10:00-10:48

B会場 5F オリオン

ワークショップ13

免疫療法・抗体療法 II

【モデレーター】高橋 俊二（(公財)がん研究会有明病院 総合腫瘍科）
藤原 康策（第一三共株式会社）

- W13-1 抗腫瘍性免疫におけるASK1の機能解析.....97
藤本 磨琴、神山 美樹、名黒 功、一條 秀憲
東京大学薬学系研究科細胞情報学教室
- W13-2 スタウスポリン内包エピルビシンミセルは、がん免疫(ICD)を誘起し、癌の再発およびがん転移を抑制する。.....98
喜納 宏昭¹、柴崎 仁志³、片岡 一則^{1,2}
¹ナノ医療イノベーションセンター
²東京大学政策ビジョン研究センター
³東京大学医学研究科
- W13-3 腫瘍浸潤Tリンパ球の解析による肉腫における免疫療法の可能性の探索.....98
佐藤 靖祥^{1,2}、友松 純一¹、高橋 俊二¹
¹(公財)がん研究会有明病院 総合腫瘍科
²東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学
- W13-4 がん環境の免疫ゲノム解析に基づく治療標的がん抗原とヒト型治療抗体の発見.....99
加藤 洋人、石川 俊平
東京医科歯科大学難治疾患研究所・ゲノム病理学分野

5月18日(金) 11:00-12:00

B会場 5F オリオン

ワークショップ15

ケミカルバイオロジー／エピジェネティクス

【モデレーター】井本 正哉（慶應義塾大学理工学部）
掛谷 秀昭（京都大学大学院薬学研究科）

- W15-1 Cytosporolide 類の細胞増殖抑制活性における責任分子標的の同定.....102
大竹 慶祐¹、室井 誠²、丹羽 祐貴¹、宮崎 奏¹、笹澤 有紀子¹、長田 裕之²、清水 史郎¹
¹慶應義塾大学 理工学部 応用化学科
²理化学研究所 環境資源研究センター ケミカルバイオロジー
- W15-2 SNIPERのIAPリガンド誘導体化によるプロテインノックダウン活性及び抗がん活性の改善.....102
大岡 伸通、奥平 桂一郎、服部 隆行、内藤 幹彦
国立医薬品食品衛生研究所
- W15-3 新規薬剤標的分子解析システム2DE-CETSAの構築と応用.....103
永澤 生久子、室井 誠、川谷 誠、長田 裕之
理研 CSRS・ケミカルバイオロジー
- W15-4 成人T細胞白血病/リンパ腫におけるDNAメチル化異常と脱メチル化剤による抗腫瘍効果.....103
渡邊 達郎¹、嬉野 博志¹、倉橋 祐樹^{1,2}、末岡 榮三朗³、木村 晋也^{1,4}
¹佐賀大学 医学部 創薬科学講座
²大原薬品工業株式会社
³佐賀大学 医学部 臨床検査医学講座
⁴佐賀大学 医学部 内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科

W15-5 ヒストン脱メチル化酵素 JARID1A を標的とする薬剤耐性克服剤の開発104
水上 民夫 ¹ 、長谷川 慎 ¹ 、佐々木 隆造 ¹ 、伊藤 昭博 ^{2,3} 、吉田 稔 ^{3,4}
¹ 長浜バイオ大・バイサイエンス
² 東薬大・生命
³ 理研・環境資源・ケミカルゲノミクス
⁴ 東大院・農生科・応生工

5月18日(金) 12:15-13:05 B会場 5F オリオン

ランチョンセミナー7

非小細胞肺癌の薬物療法～ガイドラインと将来展望～

【モデレーター】藤原 豊 (国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科/先端医療科)

LS7 非小細胞肺癌の薬物療法～ガイドラインと将来展望～

大熊 裕介

がん・感染症センター 都立駒込病院 呼吸器内科

【共催】大鵬薬品工業株式会社

5月18日(金) 16:30-18:30 B会場 5F オリオン

シンポジウム 5 (Anti-Cancer Treatment Japan 合同シンポジウム)

Molecular biology of lymphoma and novel therapies

【モデレーター】坂田(柳元) 麻実子 (筑波大学 医学医療系 血液内科)

高橋 健 (協和発酵キリン株式会社 メディカルアフェアーズ)

S5-1 B細胞リンパ腫治療の最近の話題66
照井 康仁 ^{1,2}
¹ (公財)がん研究会 有明病院 血液腫瘍科
² (公財)がん研究会 がん化学療法センター 臨床部
S5-2 末梢性T細胞リンパ腫の微小環境や免疫: AITL, ATLL について66
大島 孝一
久留米大学医学部 病理学教室
S5-3 悪性リンパ腫における EZH1/EZH2 依存的なエピゲノム異常と創薬67
山岸 誠
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻
S5-4 Immunotherapy of Lymphoma67
Ranjana Hira Advani
Stanford Cancer Institute

ワークショップ14

転移・浸潤I

【モデレーター】沖 英次(九州大学大学院 消化器・総合外科)
大塚 雅巳(熊本大学大学院生命科学研究部)

- W14-1 胃癌肝転移関連分子を標的とした新規分子標的治療の開発99
神田 光郎
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学
- W14-2 新規転移制御分子 Crumbs3 の大腸癌における機能解析100
飯岡 英和、齋藤 憲、近藤 英作
新潟大院・医歯学・分子細胞病理
- W14-3 β アレスチン1 を標的として、がん細胞に誘起される繊維芽細胞遊走を阻害する小分子の同定100
渡辺 信元¹、長田 裕之^{1,2}
¹理研 CSRS 理研マックスプランク連携部門
²理研 CSRS ケミカルバイオロジー研究グループ
- W14-4 インテグリン $\alpha 6$ の複合体形成部位の同定とその部位の阻害ペプチドによる basal-like 乳癌の転移抑制101
伊東 潤二、田中 直、佐藤 史顕、戸井 雅和
京都大学大学院医学研究科乳腺外科学
- W14-5 同所性移植手法を用いた乳がん高転移株の作製とその Transcriptome 解析101
中山 淳^{1,2}、藤元 次郎^{1,3}、仙波 憲太郎^{1,4}
¹早稲田大学大学院 先進理工学研究科 生命医科学専攻
²産総研 CBB-D-OIL
³バイオ産業情報化コンソーシアム
⁴福島医大 TRセンター

ワークショップ16

転移・浸潤 II

【モデレーター】杉本 芳一（慶應義塾大学 薬学部 化学療法学講座）
湯浅 健（(公財)がん研究会有明病院 泌尿器科）

- W16-1 Dimethyl fumarate による NF- κ B 核移行阻害を介した悪性黒色腫での腫瘍増殖・転移抑制効果¹⁰⁴
武田 朋也、椿 正寛、浅野 良太、川島 啓司、田畑 光希、西田 升三
近畿大・薬・薬物治療学
- W16-2 Statins 及び dacarbazine 併用による悪性黒色腫での腫瘍増殖・転移抑制及び延命効果105
椿 正寛、武田 朋也、川島 啓司、地主 みなみ、西田 升三
近畿大・薬・薬物治療学
- W16-3 血管内皮細胞における ASK1 が肺へのがん転移を制御する105
古川 夏輝、神山 美樹、名黒 功、一條 秀憲
東京大学 大学院薬学系研究科 細胞情報学教室
- W16-4 ケモカイン・レセプター CCR5 阻害剤による乳がん骨転移抑制の可能性の検証106
佐々木 宗一郎、向田 直史
金沢大学 がん進展制御研究所 分子生体応答
- W16-5 LAT1 阻害剤 JPH203 は、IGFBP-5 を介して、膀胱癌細胞の増殖、浸潤、遊走能を阻害す106
メイフーラン メイメイティ^{1,2}、坂本 信一¹、降幡 知巳²、安西 尚彦²、市川 智彦¹
¹千葉大学大学院医学研究院 泌尿器科学
²千葉大学大学院医学研究院 薬理学

ランチョンセミナー8

骨髄異形成症候群における HIF1A シグナルの亢進—治療標的としての可能性—

【モデレーター】原田 浩徳（東京薬科大学 生命科学部 生命医科学科 腫瘍医科学研究室）

- LS8 骨髄異形成症候群における HIF1A シグナルの亢進—治療標的としての可能性—
林 嘉宏
東京薬科大学 生命科学部 生命医科学科 腫瘍医科学研究室

【共催】日本新薬株式会社